

令和5年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	母子・父子福祉センター 大阪市立愛光会館
施設所管課・担当	こども青少年局子育て支援部こども家庭課ひとり親等支援グループ
条例上の設置目的	母子家庭の母及び父子家庭の父並びに寡婦の経済的自立を助長し、その福祉を増進するとともに、その扶養する児童の健全な育成に資することを目的とする。
業務の概要	① 職業技術指導等（大阪市ひとり親家庭等就業・自立支援センター事業） ② 講演会、講習会その他教養講座の開催 ③ ひとり親家庭等に対する各種相談事業 ④ 会館の使用申請の受付・許可 ⑤ 会館及びひとり親家庭等支援制度に関する広報・啓発 ⑥ 会館内における自主事業（飲料水自動販売機設置による施設利用者の利便性向上）
成果指標	令和3年度からの指定管理者募集における法人提案から次のとおり年度協定において設定。 (1)ひとり親ニーズへの対応満足度（アンケートにより測定） (2)就業・自立支援に対する対応満足度（アンケートにより測定） (3)就業・自立支援において適切に対応できた割合（事業実績による自己測定）
数値目標	(1)～(3)においてそれぞれ90%以上を目標として設定。
指定管理者名	公益社団法人 大阪市ひとり親家庭福祉連合会
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
評価対象期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	(1)	(2)	(3)
数値目標	90%	90%	90%
年度実績	95.6%	95.7%	99.8%
達成率	106.2%	106.3%	110.9%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	10,922	9,765	112%
稼働率	13.9%	11.2%	124%

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	113,814,806	108,413,025	2,006	
	計画	113,812,800	112,467,000		
利用料金収入	実績	0	0	0	
	計画	0	0		
その他収入 (自主事業収入)	実績	21,994	15,000	-2,006	自動販売機
	計画	24,000	13,039		
合計	実績	113,836,800	108,428,025	0	
	計画	113,836,800	112,480,039		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	58,596,311	57,958,668	-902,489	
	計画	59,498,800	57,612,000		
物件費	実績	51,374,696	50,454,357	-2,939,304	講習内容の見直しによる委託費の減
	計画	54,314,000	54,855,000		
その他事業費 (自主事業支出)	実績	22,238	60,000	-1,762	自動販売機
	計画	24,000	60,299		
合計	実績	109,993,245	108,473,025	-3,843,555	
	計画	113,836,800	112,527,299		

令和5年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
(1)	106.2%	B	概ね90%以上の満足度を達成しており、ニーズにマッチした事業を実施したと評価する。
(2)	106.3%	B	求人数の減少など就労支援の難易度が高い状況であったが、利用者からの満足度は非常に高く、適切に対応できていたと評価する。
(3)	110.9%	A	各支援対象者個人に着目してその支援進捗度で測定した。結果として、各ステージに応じた支援が提供できていることは評価できる。

（2）市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
電気使用量のデマンド監視を活用して電気使用量の抑制に努めるとともに、ペーパーレス化を実施することで、経費の縮減に努めた。	A	急激な物価高騰の影響を受けながらも、依然として剰余金を市に戻入するなど効率的な施設運営に努め、適正な経費支出となっている。

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	老朽化が進む施設であるが、早期及び予防の修繕対応により円滑に会館運営されている。
事業計画の実施状況	B	各事業の実施について、利用者ニーズを取り入れつつ講習内容を見直すことで、ひとり親家庭等に寄り添った事業運営を行った。
施設の有効利用	A	ひとり親に対する食料品等の支援を行っているNPO法人に配布場所の提供を行った。
社会的責任・市の施策との整合性	A	令和5年度ひとり親家庭等実態調査にあたっては、施設利用者の寡婦あて調査の配付及び回収を担当し、79%（市内母子親家庭からは29.8%）の回答率を達成した。

5 利用者ニーズ・満足度等

コロナウイルス感染症の5類移行に伴って景気は好転しているものの、有効求人倍率が依然として低水準で推移しているなか、就職に有利になる資格取得を目指した各種の就業支援講習会を実施し、その内容については、講習受講者に対するアンケート等を通じて見直しを行うなど利用者ニーズの積極的な把握に努めている。

また、令和3年から利用者ニーズにより施設内に設置された自動販売機について、昨年度より改善しているものの、収益としては赤字事業となっているが、ニーズ充足のため継続している。

各種事業に対する利用者満足度は概ね高い状況にある。

6 外部専門家意見

- ひとり親家庭の生活状況が依然と困難な状況にあるなかで、本法人の取り組んでいる事業は非常に重要なものとなっている。特に、ひとり親に対する食料品等の支援を行っているNPO法人グッドネーバーズ・ジャパンとの連携や履歴書用写真撮影サービスや面接時の服の貸し出し、コスメバンクと連携した化粧品の貸与など、他の民間団体との連携によるきめの細かいサービスの提供も実施されている点は非常に評価できる。ぜひ、今後も他の団体とのコラボレーション等を進めていただき、支援の中核的な組織としての存在感を示して頂きたい。
- 事業実績をみると、相談事業、講習事業、健全育成事業などで一定の利用者数を確保し、ひとり親家庭のニーズに合った事業展開がなされていると考えられる。特に、自立支援センターの取り組みは、総合的な就業支援サービスの提供により、利用者満足度も高い水準を維持できている点は高く評価できる。
- 一方で、就業支援講習会や健全育成事業の一部で満足度の低下がみられる点は、改善の余地があると思われる。

令和5年度 指定管理者年度評価シート

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	施設機能を有効に活用し、指定管理者に期待される成果を十分にあげている。 就業支援講習会や健全育成事業の一部で満足度の低下がみられる点は、改善の余地があると思われる。
市費の縮減	A	急激な物価高騰の中、剩余金を生み出した効率的な運営は高く評価できる
管理運営の履行状況 施設の設置目的の達成及びサービスの向上 施設の管理運営 事業計画の実施状況 施設の有効利用 社会的責任・市の施策との整合性	A	母子・父子福祉センターとして設置されている本施設の目的を十分に理解し、ひとり親家庭支援の拠点として有効に活用するとともに他の民間団体との連携によるきめの細かいサービスの提供により、支援を要するひとり屋のニーズに合致する事業を円滑に運営している。
総合評価	A	